

【合同資源みらい賞】

うちなみ こういち
打浪 紘一

愛する妻 道代さんへ

道代さん。来年、僕たちは結婚から満50年を迎えます。

君にとってこの50年は長かったですか？それとも短かったですか？

僕にはあっという間に過ぎた一瞬のように思えます。

でも、その一瞬には、人生の喜びも哀しみも共にしてきた君とのかけがえのない思い出が、キラキラと輝きながら、いっぱい詰まっています。

人付き合いが下手で、お世辞の一つも言えない無骨な僕のどこがよくて結婚してくれたのか、今でも僕には謎ですが、

「いつも紘一さんと一緒だったら楽しいだろうなと思ったから」という君の期待に応えてこれただろうかと、時々、自問自答しています。

でも、僕はずっと楽しかった。理屈じゃなく君が傍にいただけで心が弾み、気持ちが明るくなりました。

おそらくそれは、君が生まれつき持っている「天然」の大らかさと少女のような純粹さの賜物だと思います。

齢を重ねるうち、僕も君も病気をしたり、両親や弟や親友を失くしましたね。

誰にも起ることだとしても、そんな悲しみを乗り越えられたのは、いつも君が寄り添っていてくれたからです。

50年を振り返ると、君には「ありがとう」と言うほかありません。

人生がいつまで続くのか分かりませんが、最後の時が訪れるまで君の笑顔を見たいです。

そして、嫌でなければ来世でも僕と結婚してください。

道代さん。心から愛しています。

紘一

(大阪府 / 75歳 / 男性 / 無職)

普段心の中で思っただけでも言葉に出すのが気恥ずかしかったり、遠慮があったりして、心からの感謝の気持ちが伝わっていないこともあるのでは…と考えました。想いを形にしておきたかったというのが本意です。